

AA&S 社員各位殿

AA&S の基本方針について

内容

1. 市場の特徴及びAA&S の見解と対応
2. AA&S 基本コンセプト
3. 社員の基本条件

1. 市場の特徴及びAA&S の見解と対応

● 客先は国・民間の研究機関が大部分を占め、大手総合研究所と競合・協力している。そして、客先・当社共に技術志向の高い博士・修士で構成され、特殊性・専門性の高い者達が市場（客先・アウトソーシング先共に）を形成している。元々、高偏差値者に限られる絶対数で少ない彼らが市場構成員になるため、市場規模も小さい。更に、ノウハウに対価を支払わない習慣が連綿と続いた日本では、博士達の学位テーマを予算化し通年で追求出来る、成熟した規模の市場はない。その例として、国立研究機関の研究員が挙げられる。不十分な資金・時間のため、研究に割く時間は20%程度で、残りは調整業務と言われている。

即ち、研究・開発に注目せず、製品の様な目に見える「物」には注目し予算化させる、日本独特の文化・風土・因習が続いてきた。之が高学歴者の活用を疎外してきた要因と考えられる。

● 毎年、学位取得者が多く輩出されるが、研究・開発市場は、その規模の極小さ故に就職的受け皿になっていない。このため、任期付ポストで研究せざるを得ないポストが多い。この中で彼らは、次の二律背反の選択に迫られる。即ち、自分のテーマを追求して研究所を渡り歩き、経済的に不安定な生活を送るか、自分のテーマよりも経済的に安定な生活を優先するかを選択の中で博士達は漂流している。また、仮想現実実験に強い関心を示す博士・修士（考えるマエストロ）は、自らの専門性への深い自信と自己実現への強い欲求を有するが、当社はこのような志の高い人材に入社頂いている。

これに対し、マエストロ達の「科学する心の在様を哲学的に承認する」のがAA&S である。

● 経営者は、極小市場に多数のマエストロ達を受け入れる二律背反の世界で奮闘を強いられている。その一方、社員が何十冊もの論文を読み解き、顧客が感動する計算科学の一局面を拓いた時、経営者として嬉しく、充実感を社員と共有出来る。志高い博士・マエストロ達に、奮って活躍出来る舞台を、経営者として提供する事を、喜びとして実感出来る事実が、経営活動のエネルギーとなっている。

● 以上で述べた人材が当社に応募して来るが、高い志を持ち、評価される技術と知見を保持し、健康的に自我の発達した社会的成熟した人間に入社頂いている。また、社員には、過去従事した分野以外のSecond Best（他分野案件）実施も条件で、入社頂いている。言い換えれば、得意分野を複数確保出来る見通しが立てば、入社頂いている。具体的に、「量子力学」、「ニュートン力学」、「連続体力学」、「デジタル都市空間/SDP/Plat Form構築」の内、複数領域の専門家になる事が条件である。これは、社員が従事して来た研究分野のみでは、受注利益を見込めないという現実的・経営的理由のためである。

複数領域を決める基準は以下2点にある。

○ この分野ならば、自分は「やる気が出る、楽しみが湧いてくる」
会社としては、その分野の市場・客先開拓に注力する方針。

○ この分野ならば、自分は「興味あるテーマからは外れるが、我慢出来る、Second Bestである」
自分は、予想案件の内から、Second Bestを選べる。

● プロジェクトが企画・予算化され、その一部・全体が当社に発注される。その特徴的事態は、従来の学問領域の統合と実現化の方法論が複雑化したために、Network 型作業環境になったことである。

従って、プロジェクトメンバーと見做される我々も、この方式に従う必要がある。Network 型作業環境の作業拠点は、恵比寿事務所や客先の場合がある。従って社員は、何れの場所でも作業可能な柔軟性が求められる。

作業場所は、受託案件は事務所内で、常駐要請案件は客先事業所内となる。いずれで作業の場合でも、スキル不足、社会的個人として疑問持たれる人は、市場から外されるベクトルが働くことを認識する必要がある。

当社が置かれてきた状況に対する基本的心構えとして、次のコンセプトと社員の条件を述べておく。

2. AA&S 基本コンセプト

● 科学計算・情報分野に於いて、顧客と同一視点でモデリング・アルゴリズム開発・プログラミング・計算・評価までを個人レベルで出来る頭脳集団を目指す。

● 仕事では業務効率を追求せず、その対極にある「マエストロの手作り」に力点を置き、各自の専門性を発揮できる側面を重視する。当社は、NPO 的性格を持った会社と考える。

● Network 型作業環境の世界に棲む我々は、会社外・各分野の方との交流を広げ、人生を愉しめるように将来を豊かなものにする。

以上のコンセプトを根付かせる、方法の一つとして以下を実施する（して来た）。

1 月 1 回の勉強会・懇談会で、研究者に発表と社員の業務発表をして頂き、深い議論を行う。

2 異業種交流の場への積極的アプローチも行う。

● AA&Sの人事政策の基本

来る者は拒まず、

当社に応募する方は原則全員採用方針で面接する。

当然ながら、応募者には個人差があるが、話し合いの上「入社時の出発点の在り様」を合意して入社決める。

入社時の合意が維持されるか否かで、後の展開が変わる

去る者は追わず

社員のAA&Sへの帰属意識・アイデンティはAA&Sの会社哲学に個人が共鳴する場合と理解する。

即ち、「社員個人の人生哲学が、AA&Sの会社哲学を評価する場合にのみAA&Sの社員であり続ける」をAA&Sは根本命題としている。

当社は「大人としての域に到達した人には棲みやすく未到達の人には努力が必要な空間である」と言える。

3. 社員の基本条件

- 高度な自立的技術者集団であり、自己裁量権を委ねられ、複数の専門性を発揮しての業務実施となるため、社会通念以上の高い自己実現を実感できること。
- 常に「スキル深耕・専門領域拡大」・「健康的自我と自立した自己確立」を追求すること。
- Flat 業務を念頭に各自は、最小限の業務連絡で、チームの前進に寄与できること。